

予防しようMTBI

赤ちゃんを強く揺さぶらないようにしましょう。

体格にあったチャイルドシート、シートベルトを使用しましょう。



イスやベビーカーでは、ベルト等を使用し、転落を防ぎましょう。

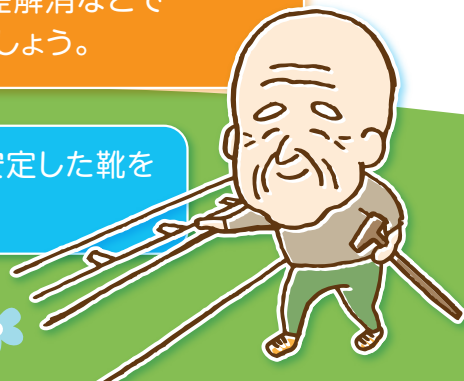
子ども（13歳未満）が自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。



スポーツでは防具を適切に使用しましょう。

室内の整理、じゅうたん・マットの滑りどめ、段差解消などで転倒を防ぎましょう。

脱げにくく、安定した靴をはきましょう。



理解と支援

MTBIと診断されないまま、様々な症状に悩まされている方がいます。事故後の後遺症による日常生活や社会生活のしづらさについて、私たち一人ひとりの理解と支援が求められています。

お問い合わせ・相談

目黒区高次脳機能障害者支援センター
NPO 法人いきいき福祉ネットワークセンター内
☎6808-8575 FAX 6808-8576

精神保健に関する相談

- ▶ 保健予防課 保健相談係
☎5722-9504 FAX 5722-9508
- ▶ 碑文谷保健センター 保健相談係
☎3711-6447 FAX 5722-9330

精神障害者保健福祉手帳に関する相談

- ▶ 保健予防課 保健サービス係
☎5722-9503 FAX 5722-9508
- ▶ 碑文谷保健センター 保健サービス係
☎3711-6446 FAX 5722-9330

身体障害者手帳に関する相談

- ▶ 障害者支援課 身体障害者相談係
☎5722-9850 FAX 3715-4424

脳を守ろう MTBI

Mild Traumatic Brain Injury

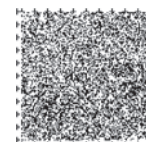
エムティービーアイ

軽度外傷性脳損傷



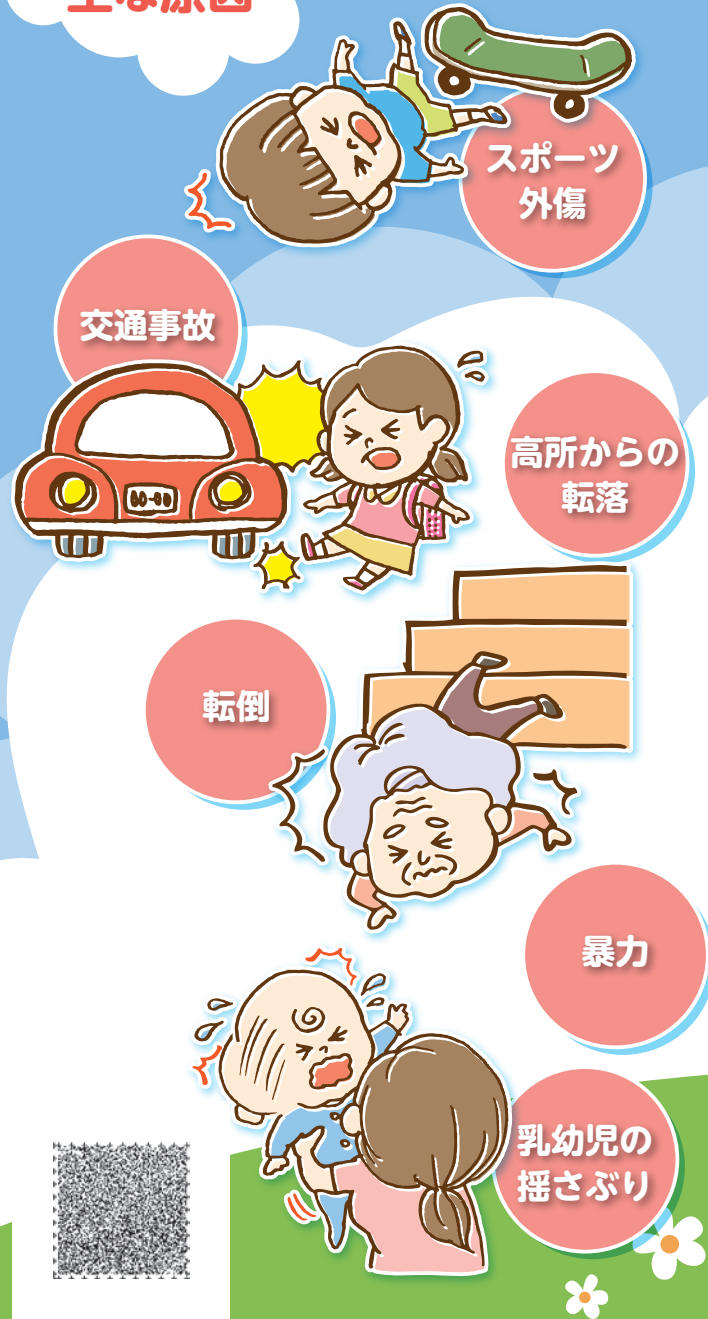
MTBIを理解しよう

交通事故や外傷などで、頭を直接打ったり、または頭が前後左右に揺れると、脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがあります。





主な原因



主な症状

感覚障害

- ▶ 味覚・嗅覚の障害
- ▶ かすみ目(目がチカチカ)
- ▶ 耳鳴り

高次脳機能障害

- ▶ 注意散漫
- ▶ 集中できない
- ▶ 記憶できない
- ▶ 言葉がうまく話せない
- ▶ 理解ができない

精神・行動変化

- ▶ 依存的
- ▶ 過敏
- ▶ 情緒不安定(いらいら、うつ)
- ▶ 固執傾向

身体障害

- ▶ 平衡感覚障害
- ▶ 嚥下障害

自律神経症状

- ▶ 吐き気
- ▶ めまい
- ▶ 頭痛
- ▶ 睡眠障害

診断

30分以内の意識消失、24時間未満の健忘症などの「軽度」の意識障害後に生じる様々な症状があります。

また、画像検査(MRIなど)でも異常が写らないことが多く、診断が確立していないため、神経学的検査を含む検査と、脳神経外科、神経内科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神科、リハビリテーション科などの協力による総合的な診察が必要になります。

記憶障害、頭痛、めまいなど事故前と異なる症状が持続するときには、事故から時間が経っていても、各専門医療機関の受診をお勧めします。

